

# 2026 年度 高社小学校 グランドデザイン

## 確かな学び

高社小の目指す授業

「安心のある学習環境を土台にした学び」  
～聴こう！話そう！深めよう！～

- ・子ども達一人一人が、安心して「聴き合える」「語り合える」ような学習環境を大切に授業づくりを行います。
- ・相手の思いや考えを「聴く」ことを大切に、自分の思いや考えを相手に「話す」ことで、「対話」による“学び合い”を通して、物事のより「深い」理解を目指します。
- ・できること、頑張っていることや一人一人の得意を認め合うことを通して、安心感をもち主体的に学ぶ姿を目指します。

## 豊かな心

- ・SSE（ソーシャルスキル教育）を活用し、学級・学年・異年齢での交流を通してコミュニケーション力を身につけます。また、認め合い、協力し合う経験を重ね、安心できる学級づくりを推進します。
- ・地域の人・文化・自然などの豊かな資源を生かし、体験活動を充実させ、「知りたい」を育てる学びを進めます。また、問いを見つけ、調べ、表現する過程を大切に、探究心を育てます。
- ・日々の生活で人権教育の視点を意識し、「自分を大事にし、他者を尊重する態度」を体現できるようにします。また、道徳科授業の充実で、具体的な価値観に触れ、よりよく生きようとする心を育てます。
- ・読書で学びの土台を育てます。また、家庭との連携を図り、メディアから離れる時間を確保し、想像力を広げる習慣をつくります。図書館を使った調べ学習を進め、主体的な学びを定着させます。

## 健やかな体

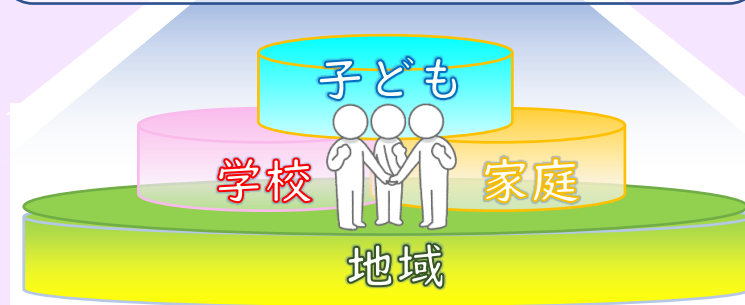
- ・体育の授業、体育集会、運動会、遠足など多様な活動を通して、基礎的な身体能力の向上を図ります。
- ・地域の方々と連携し、スキーや雪遊びなど地域の特色である雪に親しむ活動を充実させ、雪とのかかわる楽しさを育みます。
- ・児童の実態やアンケート結果から見える課題を踏まえ、健康に関する指導を充実させ、日常生活に生かせる健康の知識や態度を身に付けられるようにします。
- ・家庭と協力し、子どものメディア利用について情報を共有しながら、適切にメディアと関わる力を育てます。

学校教育目標

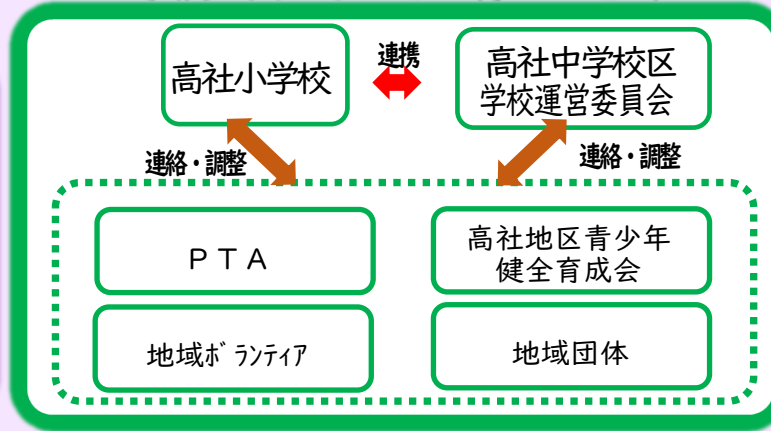
広く 高く 豊かに  
～ふるさとの山 高社山のように～

目指す児童の姿

自己を見つめ、つながり合う子ども  
自己や他者との対話・自己理解・他者理解



学校と共に子どもを育てる地域



## 高社小の行動目標

ひとりになれる

ひとつになれる

## 家庭と連携した ICT 活用

- ・タブレット端末の活用について振り返る場を設け、他者の人権に配慮しながら、一人一台端末を必要に応じて活用し学びを深められる子どもを育てます。
- ・メディア利用に関して、子どもや保護者との情報交換を通じて課題を共有し、家庭と協力して諸課題の解決を図ります。

## 高社小中一貫で育む力

高社中ブロックで育てたい児童生徒の姿

- ◆自分の考えをもち、学び合うことを通して、なりたい自分になる
- ◆体験・交流活動を通して、健康で豊かな心と体を身につける

大切にしていける3つの連携の柱

- < 学びの連携 > 「学び合いのある授業づくり」
- < 育ちの連携 > 「体験交流活動の充実」  
「人権教育の推進」
- < 外部との連携 > 「高社小・中の9年間を支える地域との連携」  
「高社小・中の学校間連携」